

平成29年12月22日

各 位

住信SBIネット銀行株式会社

～お年玉に関する意識調査～
お年玉の平均支出予定総額は 25,899 円
前年調査よりも減少傾向

住信 SBI ネット銀行株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：円山 法昭、以下「住信 SBI ネット銀行」という）は、住信 SBI ネット銀行の口座を保有する全国のお客さまに「お年玉に関する意識調査」を実施し、1,457 人より回答をいただきました。

***** アンケート結果概要 *****

- 「お年玉をあげる予定がある」と回答した割合は微増するも、支出予定総額は減少
「お年玉をあげる予定がある」と答えた人は 67.1%と、前年調査結果（66.0%）から微増しました。一方で、今冬あげるお年玉の平均支出予定総額は 25,899 円となり、前年の調査結果（28,362 円）からは減少する結果となりました。年代別で見ると、60 代が 31,182 円と最も高いものの、前年（35,400 円）より 4,218 円減少しています。

- 自分の子どもへのお年玉は「小学生になってから」、甥・姪へは「物心つく前から」
自分の子どもへお年玉をあげる人のうち、いくつからお年玉をあげているのかを尋ねたところ、「小学生になってから」が 3 割弱と最多でした。一方、甥・姪に対しては、小学生に上がる前までに初めてのお年玉をあげる人が 7 割強、うち 0 歳のうちからあげる人が約 3 割となっています。自分の子どもへはお金の認識ができる年齢になってからお年玉をあげますが、甥・姪には物心がつく前にお年玉をあげる傾向にあるようです。

- お年玉の額、中学生になると 5,000 円超えが半数近くに
お年玉をあげる金額を学齢別に尋ねたところ、小学校低学年では 3,000 円以下が、小学校高学年では 5,000 円以下が最多ですが、中学生に対しては 5,000 円より多くあげる人が半数近くまで増加しています。高校生に対しては、10,000 円より多くあげる人が 2 割を超えています。

- 子どものお年玉を管理する親は 3 分の 2、子ども自身で管理するようになるのは小学生から
自分の子どものお年玉を「親が全て管理」または「親と子どもでそれぞれ管理」している親は 64.3%と、約 3 分の 2 にのびりました。特に小学生未満の子どものお年玉は 9 割以上が「親が全て管理」と回答しています。しかし、小学生になると、子どもと一緒に管理、または子どもに管理させる人も増加しており、中学生になると「子どもが全て管理」する割合が 5 割弱となっています。

- お年玉は「円普通預金」での預入れが 4 分の 3、運用型商品の活用は少数派
子どものお年玉を管理している人に、どのような方法で管理しているかを複数回答で尋ねたところ、「円普通預金」（76.2%）が 4 分の 3 を占める結果となりました。次いで「現金のまま保管」（20.7%）、「円定期預金」（18.5%）の順となっており、「学資保険」（3.1%）や「株」（1.8%）といった運用型商品の活用は少数派となりました。

- お年玉をあげるときに気になるのは「金額の相場」
お年玉をあげる際に頭を悩ませることを自由回答で尋ねたところ、金額の相場について悩んでいるという意見が複数みられました。周りはいくらあげているのか、年齢に対しどの程度あげればよいのかといった「相場感」が分からず、毎年悩んでいる人が多いようです。

<総括>

本年の調査では、「お年玉をあげる予定がある」割合は前年よりも微増傾向にあったものの、平均支出予定総額は減少しました。2017 年は日経平均株価が大きく上昇したものの、連動してお年玉の額が上がるというわけではなさそうです。

《調査概要》

調査期間：平成 29 年 11 月 22 日～11 月 28 日

調査対象：住信 SBI ネット銀行の個人顧客

回答者数：1,457 名

(内訳 20 代：164 人 30 代：224 人 40 代：233 人 50 代：400 人 60 代：436 人)

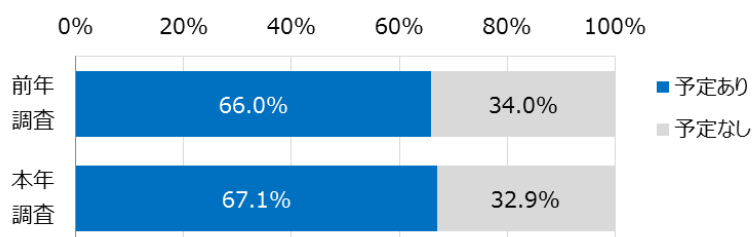
調査方法：インターネットアンケート

調査地域：全国

《アンケート結果》

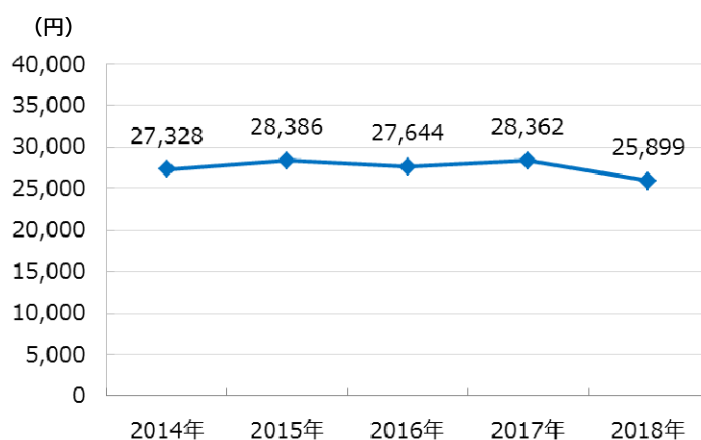
◆お年玉をあげる予定の有無

お年玉をあげる予定のある人は 67.1%。前年調査より微増しています。



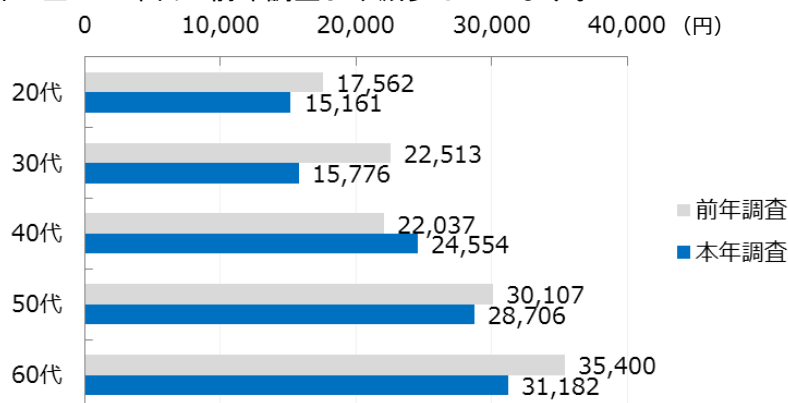
◆平均支出予定総額の推移

平均 25,899 円となり、前年調査より 2,463 円減少しています。



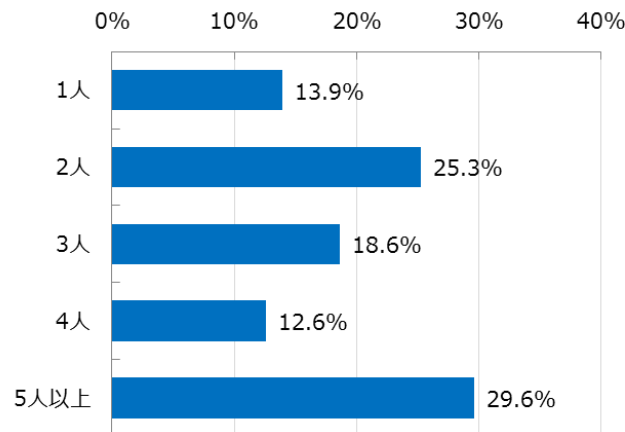
◆平均支出予定総額 年代別

年代別では 40 代以外の全ての年代で前年調査より減少しています。



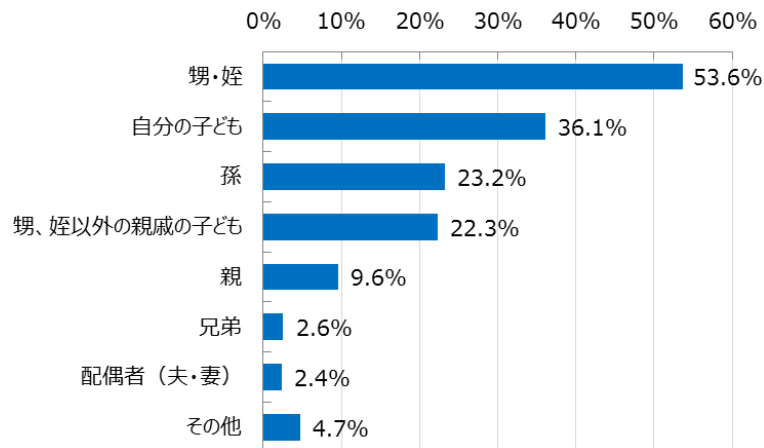
◆お年玉をあげる人数

お年玉をあげる人数の平均は3.7人で、「5人以上」あげる人の割合が29.6%と最も多くなっています。



◆お年玉をあげる相手（複数回答）

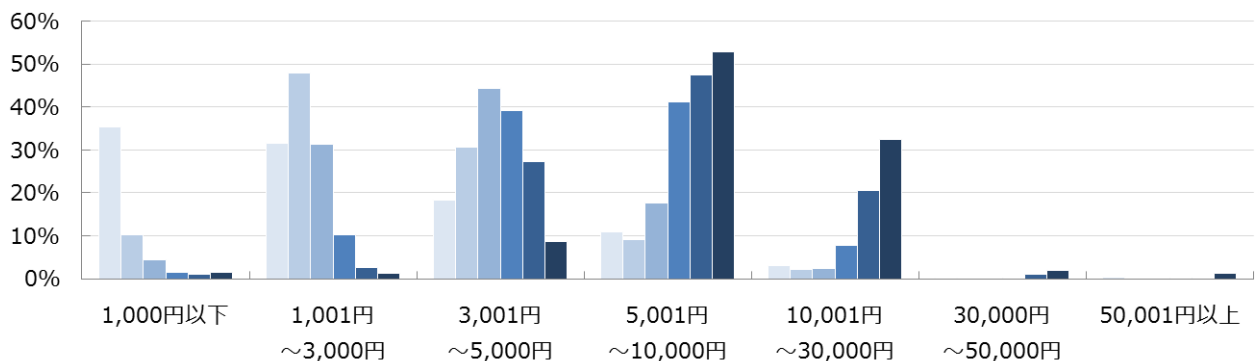
「甥・姪」が最も多く、「自分の子ども」が続きます。中には「親」にお年玉をあげる人も1割近くみられます。



◆お年玉をあげる相手×金額

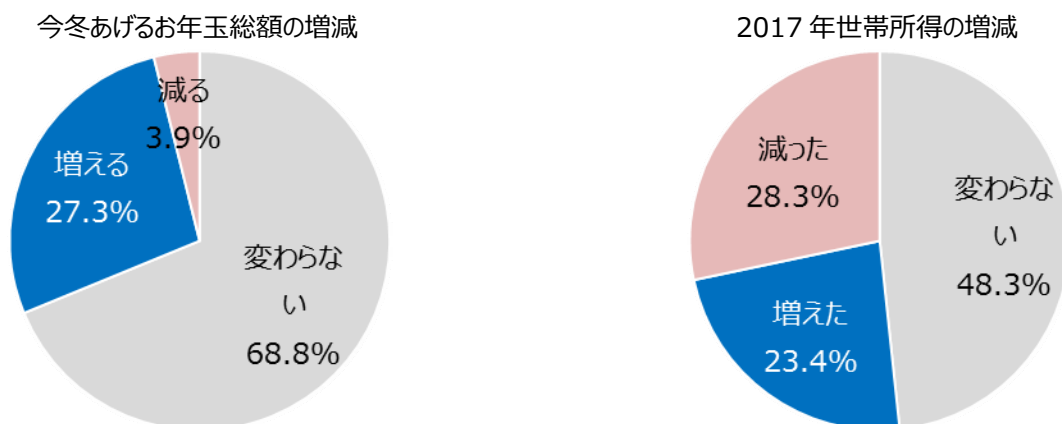
小学生未満は1,000円以下、小学校低学年は1,001～3,000円、小学校高学年は3,001～5,000円、中学生以上は5,001～10,000円がボリュームゾーンとなっています。

■小学生未満 ■小学生（1～3年生） ■小学生（4～6年生） ■中学生 ■高校生 ■大学生・専門学校生等



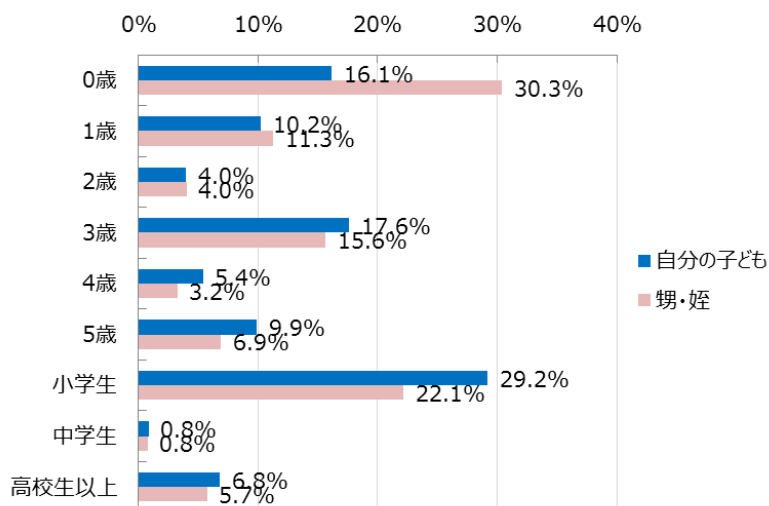
◆今冬あげるお年玉の総額の増減と、2017年の世帯所得の増減

今冬あげるお年玉は昨冬から「減る」と回答した人は3.9%と少ないですが、一方で2017年の世帯所得が「減った」と回答する人が28.3%と約4分の1を占めています。世帯年収が減ってもお年玉の額は変えられない様子が見えられます。



◆お年玉をあげる年齢（自分の子ども／甥・姪）

自分の子どもにお年玉をあげる年齢は「小学生」が29.2%とボリュームゾーンであるのに対し、甥・姪は「0歳」が30.3%と最も高くなっています。

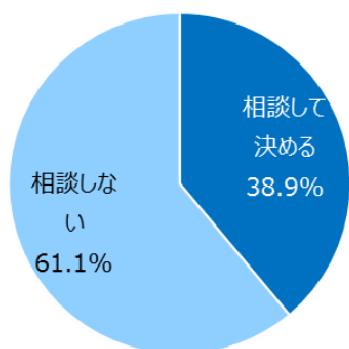


◆親戚間でのお年玉に関する相談有無と、自分の子どもと甥・姪にあげる金額の多少

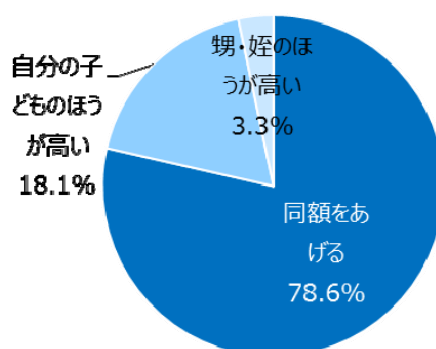
甥・姪にお年玉をあげる際に親戚同士で相談する人の割合は4割弱で、「相談しない」派が多いようです。

自分の子どもと甥・姪にあげるお年玉の金額は、「同額をあげる」が8割弱となっており、差をつけないほうが多数派となりました。

甥・姪へのお年玉を親戚同士で相談するか



自分の子どもと甥・姪にあげる金額の大小

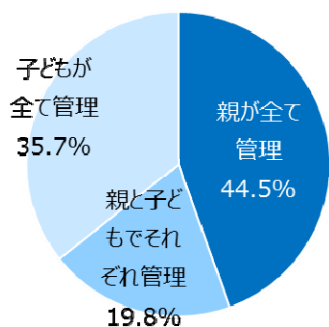


※自分の子どもと甥・姪が同年齢と仮定して回答

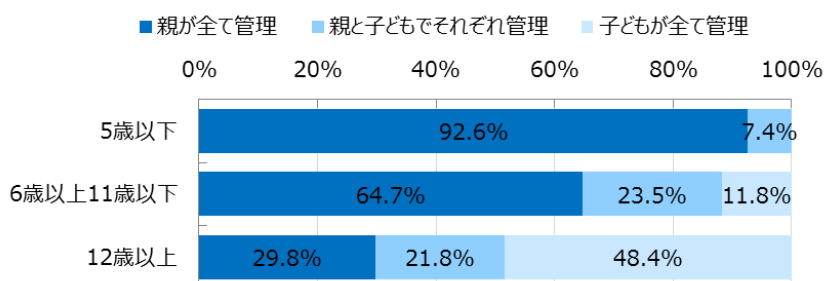
◆自分の子どものお年玉は誰が管理するか

自分の子どものお年玉を誰が管理するかを尋ねたところ、「親が全て管理」(44.5%)「親と子どもでそれぞれ管理」(19.8%)と、親の管理が入る場合が3分の2を占めています。

子どもの年齢別では、小学校に上がるまでは親が管理、小学校に上がったからは子どもも自分で管理する割合が増えています。

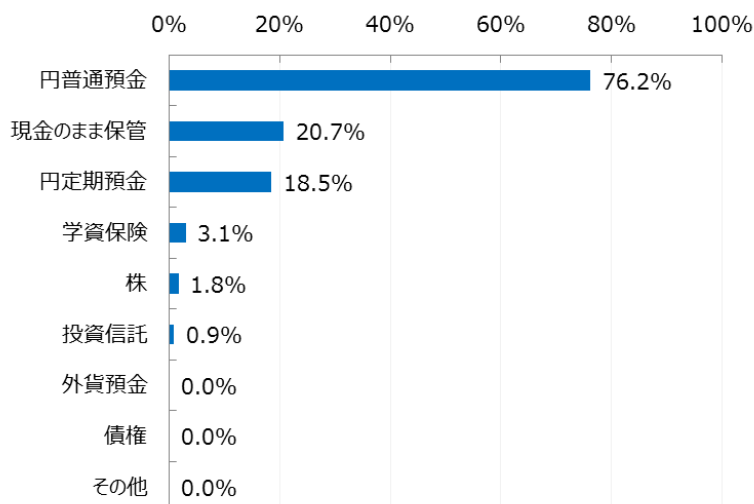


子どもの年齢別での管理



◆子どものお年玉の管理方法（複数回答）

自分の子どものお年玉を管理している人にその管理方法を尋ねたところ、「円普通預金」が76.2%と突出しており、次いで「現金のまま保管」(20.7%)、「円定期預金」(18.5%)の順となりました。学資保険や株などの運用型商品の活用は少数派となりました。



◆お年玉をあげる際に頭を悩ませること（自由記述）

金額の相場について悩んでいるという意見が複数みられました。周りはいくらあげているのか、年齢に対しどの程度あげればよいのかといった「相場感」が分からず、毎年悩んでいる人が多いようです。

いくらあげればよいのか	いくらか良いのか毎年悩みます。	女性 30代
	周りの相場がわかりません。	男性 30代
	毎年金額を上げなければならぬんじゃないかと悩む。	女性 40代
いつまであげればよいのか	いつまであげるか、ですね。まあ、就職するまでかと思いますが、大学院生は、正直迷います。	男性 40代
	何歳まであげたらよいか考えてしまう。	男性 50代
親戚にどこまで配慮すべきか	自分の子どもが二人に対し、姪っ子は一人っ子なので相手方に負担感があるのではないかと、という気持ちが常にある。	男性 50代
	新年に親どうしだけが挨拶した時に、来ていない子どもにお年玉を渡すべきか。	女性 50代
	最初は、自身の孫の場合、娘の義御両親より出過ぎてはいけぬ、と思いついその金額に悩みました。	女性 60代以上
色々忘れる	前年にいくらあげたか毎年忘れること。	男性 30代
	正確な年齢と名前の表記。	男性 30代
現金以外で渡すべきか	本当は現金ではなく株式でお年玉を渡したいが、法律の手続きが面倒なので気軽にできない点が苦しい。	男性 20代
	現金がいいか、プリペイドカードや物がいいか考える。	女性 40代
お年玉をなくしてほしい	正直、無駄な出費だな…と。	男性 30代
	こういう習慣はなくしてほしい。	男性 50代
悩んだことはない	1 学年1000円と決めているので悩まない。例えば中学 1 年生は 7 年生として7000円。	男性 60代以上
	夫婦で相談して基準を決めているので、あまり考えない。	男性 60代以上
その他	向こうが勝手に集金に来るので特に考えも手間もない。	男性 50代
	しゃれたポチ袋が意外と見あたらない。	男性 50代
	いつから運用を教えるか。	男性 30代

【住信 SBI ネット銀行について】

住信 SBI ネット銀行は、三井住友信託銀行と SBI ホールディングスを出資会社とするインターネット専門の銀行です。

平成 29 年 9 月 30 日時点で預金総残高（*1）が 4 兆 3,118 億円、平成 29 年 11 月 14 日時点で預金口座数（*2）は 300 万口座を突破しました。

（*1）円普通預金、SBI ハイブリッド預金、円定期預金、円仕組預金、外貨普通預金、外貨定期預金、外貨仕組預金の合計。外貨預金については住信 SBI ネット銀行所定レートによる円換算後。

（*2）代表口座の預金口座数。住信 SBI ネット銀行の顧客数に相当。

住信 SBI ネット銀行は、お客さまに常にご利用いただける「あなたのレギュラーバンク」を目指して、更なる利便性の向上と社会の発展に寄与する新しい価値の創造につとめてまいります。

以 上